

平成30年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	ムーンショット型研究開発プログラム			担当部局庁	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	作成責任者			
事業開始年度	平成31年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(革新的研究開発推進プログラム担当)	鈴木 富男			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、内閣府設置法(平11法89)第4条及び第26条			関係する計画、通知等	統合イノベーション戦略(平成30年6月15日閣議決定)、経済財政運営と改革の基本方針(平成30年6月15日閣議決定)、未来投資戦略2018(平成30年6月15日閣議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	将来の産業・社会のあり方を大きく変革する革新的かつ独創的な研究成果を生み出し、解決困難な社会課題の解決による破壊的イノベーションの創出を主導するため、統合イノベーション戦略及び経済財政運営と改革の基本方針に基づき、より野心的な構想の下、関係省庁が一体となって集中・重点的に挑戦的研究開発を推進する仕組みを整備し、政府全体として非連続的なイノベーションを生み出す研究開発を継続的かつ安定的に推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)が、国として中長期的に取り組むべき重要課題等を特定し、解決すべき野心的な目標等(ムーンショット目標(仮称))を設定することにより、当該目標を踏まえ、文部科学省、経済産業省等の関係府省が所掌に応じ、関連するプログラム構想を策定し、相互に連携して挑戦的研究開発を推進する。 ・研究開発プログラムの実施に当たっては、関連する推進施策を文部科学省及び経済産業省がそれぞれ31年度概算要求を行うとともに、その他府省の所掌に係る研究開発予算を内閣府が一括して概算要求を行い、関係府省を通じて、研究開発法人等への運営費交付金等として移し替え、研究開発法人等から研究主体(大学、研究法人等)に委託費又は補助金等の形で交付する。 ・また、直面する政策課題等の解決に向け、世界中から多様なアイデアや知恵を募集し、その実現可能性を競いながら研究開発を進めるアワード型研究開発を合わせて導入する。 								
実施方法	直接実施、委託・請負、交付、その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	3,000		
	執行額	0	0	0					
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-			
平成30・31年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
	科学技術イノベーション創造推進費(内数)	-	3,000	「新しい日本のための優先課題推進枠」3,000					
	計	-	3,000						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 36年度	目標最終年度 41年度
	今後、予算編成過程において有識者等で構成するビジョナリー会議(仮称)を設置し、10~30年程度先の未来を見据えたムーンショット目標(3課題程度)を設定予定	ムーンショット目標の達成数(未定)	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	3
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	ムーンショット目標については、今後、ビジョナリー会議(仮称)において、有責者等から様々な意見等を聴取しながら設定することとする。								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 32年度	目標最終年度 33年度
	関係府省や自治体等が直面する困難な政策課題等の解決	関係府省等から提案された政策課題等の解決数	成果実績						
			目標値				15	30	
			達成度	%					
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	アワード型研究開発プロジェクトについては、各分野の専門家等を含む選定委員会(仮称)において設定することとする。								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	ムーンショット目標達成に寄与する革新的な研究開発成果の創出数(ムーンショット型)	活動実績	-	-	-	-	-	-
	当初見込み	-	-	-	-	-	-	3
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	関係府省から提案された政府課題等の解決数(アワード型)	活動実績						
	当初見込み							10
単位当たりコスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	(必要な経費)/(ムーンショット目標数)	単位当たりコスト					767	
		計算式	/				23億円/3目標	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	(必要な経費)/(アワード型研究開発課題数)	単位当たりコスト	-	-	-	-	70	
		計算式	/	-	-	-	7億円/10課題	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策								
		施策								
		測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標年度 年度
			実績値							
		目標値								
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	-									
	経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
			成果実績							
目標値										
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
		成果実績								
		目標値								
		達成度	%							
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

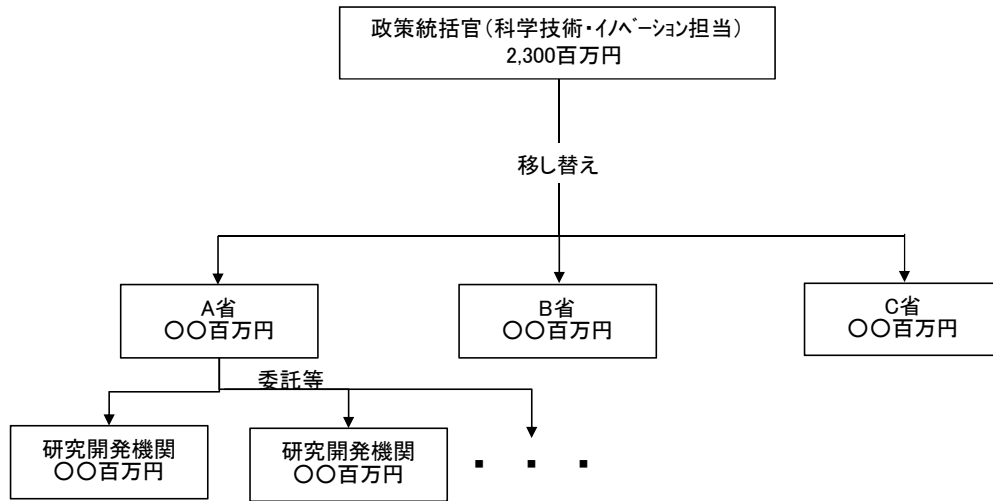
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明
		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、将来の産業・社会のあり方を大きく変革するような革新的かつ独創的な研究開発を推進するため、国内外からトップレベルの研究者を集め、関係府省が分担・連携して必要な研究開発を推進する必要があるため、自治体や民間等に委ねることは困難である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、破壊的イノベーション創出に向けた最近の欧米や中国等における研究開発動向を踏まえ、統合イノベーション戦略及び経済財政運営と改革の基本方針において、「関係府省庁が一体となって集中・重点的に研究開発を推進する」とされたものであり、目標達成手段及び政策的な優先度は適切かつ高いものである。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 一者応札又は一者応募となったものはないか。						
	競争性のない随意契約となったものはないか。						
	受益者との負担関係は妥当であるか。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果						
	改善の方向性						
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
平成26年度	-	平成27年度		平成28年度			
平成29年度							

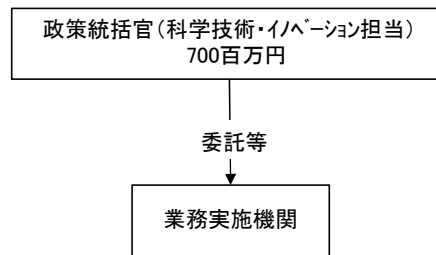
※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【資金の流れ(現時点での予定のイメージ図)】

1 ムーンショット型研究開発



2 アワード型研究開発費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)